

妊婦さんにはぜひ知ってほしい

母子ともに健康であるための “妊婦歯科健診”

妊娠中は歯科的なリスクが高まることはご存知でしょうか？

何気なく軽視してしまうと、妊婦さん自身はもちろん、生まれてくるお子さんのからだにも悪い影響をおよぼす可能性が増します。福山市や福山歯科医師会が、「妊婦歯科健診」を呼びかけているのはその現われからです。より安全な出産とご自身の健康のために、必ず受診されることを強くおすすめします。

小池デンタルクリニック 院長 小池秀行



はじめに

当クリニックでは小池病院との関連もあって、開院時から「妊婦歯科健診」を実施してきました。その後、福山市でも福山歯科医師会と協力して、妊婦歯科健診を行うようになったことでより多くの妊婦さんが健診を受けるようになってきました。しかし歯科健診の大切さに気がついていない方もおられるようですので、その重要性について説明したいと思います。

妊婦さんは歯周病？

妊娠すると女性ホルモンが増加することをご存知でしょうか。歯周病の病原菌はこの女性ホルモンが大好きで、一緒に増えてしまいます。ですから**妊娠中は歯周病の病原菌の数がおよそ5倍にもなる**といった報告もあり、その倍率に驚くことでしょう。さらに言うなら、この5倍とは健康でキレイな口元の人と比べて5倍ではないということです。普段の自分の口の中がしっかり定期検診に通ってメンテナンスを行なって

いる人と比べてときで、もしキレイな人より1.5～2倍病原菌がいたなら、その5倍汚いということになり7.5～10倍も病原菌が多いということになってしまいます。自分が歯周病であれば更に悪化することになり、歯周病でなかったとしても歯周病になるリスクが非常に高いことが理解できるでしょう。ですから多くの場合、妊婦さんは歯周病であるとも言えます。

日本人と歯周病

「自分は歯周病じゃないから大丈夫」って思っていないですか？TVのハミガキのCMなどで「**日本人の成人の8割が歯周病**」ってセリフを聞いたことはないでしょうか。さらに日本歯周病学会、日本臨床歯周病学会が刊行した初の公式本「日本人はこうして歯を失っていく—専門医が教える歯周病の怖さと正しい治し方」にはさらに恐ろしい数値が記載されていて「**日本人の7割以上が歯周病**」と書かれています。そこには20代の約70%が歯周病とされており、65歳以上の高齢者になると歯のない人以外はほぼ全員が歯周病だとしています。55歳以上は半数以上に重症化が見られ、20代を超えると増加していくと説明されています。これだけの話を聞いても、それでも「私は毎日歯を磨いているから歯周病じゃない」と思っている人がいるのではないでしょうか。しかし、前述を言い換えるなら、周囲の人を見渡して虫歯でなくとも定期的に歯医者さんにメンテナンスに通いしっかり歯磨きを行っている人が2～3人思いつくなら、それ以外の人は歯周病の可能性が高いということと同義ともいえるでしょう。あなたはどちら側ですか？

残念ですが多くの人はやはり歯周病です。「痛くないから歯周病じゃない」と思われている人も多いようですが、歯周病は病気であって怪我ではないので、痛くないから病気じゃないということにはなりません。身体の他の病気などを思い浮かべても「痛くない」と「病気じゃない」は同じではないですね。歯周病の場合は皆さんが自覚するのは、歯を支える土台である顎の骨の部分が歯周病によって溶かされていき、歯ぐきが下がり歯の根っこの部分が露出したとき、歯が揺れて噛めなくなったとき、口臭、出血などが多い状態になったときでしょうか。このような症状が出たとき、その歯は抜かなくてはいけない、残せない、といった可能性が生じてきます。

日本人が歯を失う一番の原因は、虫歯ではなく歯周病だということも覚えておいてください。

歯周病による影響

〈早産・低体重児出産〉

歯周病の病原菌は血管を流れる血液によって全身を移動し、妊娠中の子宮に影響を与える場合があり、『早産・低体重児出産』のリスクを上げてしまいます。この**リスクが7.5倍**であるとするデータも見られるため、非常に注意が必要です。早産や低体重児出産のリスクとして挙げられる、喫煙や高齢出産やアルコールなどといったその他の要因と比較してもとても高い数値といえます。妊娠中に口の手入れを行っても早産や低体重児出産にならないとは言いきれませんが、もし口の手入れをさぼって、結果として早産・低体重児出産となったときに後悔することになります。歯周病によってこういったリスクが上がるのであれば十分な手

入れをしておきたいですね。

〈智歯周囲炎(親知らずの炎症)〉

多くの場合、親知らずはキレイに生えることなく変な方を向いていたり、ちょっとだけ見えているけど大部分が骨の中に埋まっていたり、完全に埋まっていたりなどしています。生えていても歯並びが悪ければ歯周病は悪化しやすく、ちょっとだけ見えている状態では汚れが入り込みやすく掻き出しにくい状態で、これも同様に悪化しやすいわけですね。当然、一番奥にあるので歯磨きも困難です。通常でも歯周病が悪化しやすいポイントになるこの親知らずが、妊娠によって歯周病の悪化が促進されるとどうなるでしょう？急激な痛みを伴って、出産前なのに眠れない痛みで悩まされる可能性もあり、歯周病悪化の要因になるかもしれません。安定期などに予防的な対処をしておきたいところですね。

〈口内炎〉

妊娠により増加した歯周病の病原菌によって、歯ぐきなど口の粘膜が攻撃されていけば、当然ですが口内炎もできやすく悪化しやすい環境となっていることも覚えておきましょう。

〈虫歯〉

つわりや偏食、食事回数や間食の増加など食生活の変化が影響する場合もあり、また、嘔吐で胃酸(酸)が逆流してきて歯が溶かされやすくなることも影響します。簡単に言えば歯の表面がもろくなり、虫歯が進行しやすい状況になってしまうともいえます。嘔吐の後などはそのままにせず、せめてうがいを口の中の酸の濃度を低下させておくことをお勧めします。

〈妊娠性歯周炎・妊娠性エプーリス〉

どちらも妊娠によって生じやすい歯ぐきの炎症です。後者は良性腫瘍の一種で歯ぐきに局限して生じます。

歯周病や虫歯の治療

妊娠初期や出産直前を避ければ、歯科治療は可能です。むしろ出産直前に口のせいで痛くて眠れなくなってしまったり、先ほど述べた『早産や低体重児』のリスクを考えると、安定期(5～9ヵ月頃)を目安に治療しておくことをお勧めします。

レントゲンのお腹の赤ちゃん

レントゲンを不安に思う方もいるかと思いますが、しかし歯はお腹から場所が離れており、さらに鉛のエプロンをしていただきますので、おなかの赤ちゃんが被曝する量は限りなくゼロに近く、赤ちゃんへの被曝の影響はまったく無いのに等しいことがわかっています。また、当クリニックの歯科用CTなどのエックス線撮影装置はデジタル撮影となっており、従来のフィルムタイプに比べて被曝量も少なくなっています。歯科用CTですら約35μSv(マイクロシーベルト)であり、日常生

活での1日あたりの被曝量が日本平均で約4.1μSv、世界平均で約6.6μSv、東京⇄ニューヨーク間航空機で往復が約200μSv、さらに胸部CT撮影が約6,900μSvであることから考えると非常に少量の被曝量なので安心していただけたらと思います。また、鉛の入ったエプロン(防護服)を着けて撮影を行いますので、万一、レントゲンの照射方向がずれてしまっても安心です。

麻酔注射の影響

麻酔についても不安を感じる人がいるかと思いますが、赤ちゃんには影響しません。歯科治療に使う麻酔は、全身麻酔ではなく局所麻酔です。無痛分娩にも使われる麻酔と同様のものなので、安心してもらえると思います。また、局所麻酔薬には血管収縮剤が入っているため、治療をする歯の周辺に麻酔薬は停滞します。ですから、おなかの赤ちゃんに影響する心配はないといえます。

抗生物質や痛み止め

抗生物質であればペニシリン系やセフェム系、鎮痛剤はカロナールなどアセトアミノフェンが安全であることが産婦人科医師の見解で明らかになっています。必要な場合には歯医者さんやお医者さんと相談して最小限で使うことをお勧めします。また、小池デンタルクリニックでは小池病院でも処方する妊産婦に安全に服用できる抗生物質や痛み止めを使用していますので、安心して飲んでいただけます。

妊婦歯科健診へ行く時期

妊娠が分かったら、なるべく早く健診を受け、歯科医師と相談して口の中の管理を早めに開始することが、これまで述べたリスクの軽減に非常に効果的です。

子どもへの影響

生まれたばかりの赤ちゃんの口の中には虫歯のバイ菌はいませんが、成長する過程で周囲の人から感染してい

き、口の中に常在菌と呼ばれるものを取り込んでいきます。虫歯のバイ菌であるミュータンス菌は、とくにお子さんの歯がある程度生え揃う生後1歳7ヵ月～2歳7ヵ月くらいに周囲の大人たちから唾液を通して感染します。「子供にキスしたりしなければ大丈夫!」なんて思っていないか?残念ながら「キス」をしなくても、大人たちからお子さんへと感染してしまうんです。例えばご飯をあげるとき、スプーンですくって熱さを確認するため自分の口(舌)にあてて、熱ければ「ふーふー」と冷ましてお子さんの口に持っていきますよね。この大人の口(舌)で触れて確認することで、大人の口からお子さんへと感染するわけです。同じ食器、コップ、お箸などを使うことも感染の原因になります。こういった理由から感染源として確率が高いのは、1.母親 2.父親 3.祖母 4.祖父 の順となるようです。とはいえ、周囲の大人と食器その他を完全に分けたり、スキンシップを絶つことは不可能です。ですから、周囲の大人、とくに両親が口をキレイにしておかないと、生まれたお子さんの口を悪化させる原因をより大きくします。

乳歯や永久歯への影響

お子さんの歯は、実はお腹の中いる間に乳歯や永久歯は作られ始めています。乳歯のもとになる歯胚といわれるものが顎の中で作られ始めるのが、妊娠7週目頃からで、妊娠4ヵ月頃から硬くなり石灰化が始まり、生まれる頃には生える準備ができています。永久歯も妊娠4～5ヵ月頃から歯胚ができ始め、生まれる頃に石灰化が始まります。ですから、お子さんの歯が丈夫かどうかは妊娠中のお母さんがバランスの

いい食事を摂って、健康であるかどうか乳歯や永久歯に影響を与えます。

歯磨き

歯周病に一番効果的なのは歯磨きです!

テレビの特集でも歯磨きについて取り上げられたりしますが、番組によっても言っていることが様々です。最近では食事の直後に歯を磨くのはよくないので30分たってから磨きましょう、というのが流行っているようですが、これも諸説があります。そもそもはアメリカでの研究結果から波及したのですが、アメリカ人と比べて日本人の口の唾液量は少なく、カルシウムも不足気味なので、食後30分間の再石灰化は不十分だと考えられます。ですから日本人は30分後に歯磨きを行うようにしてもあまり効果を得られないとも言われています。そもそも食後の口の中に残っている酸を含んだ食べかすなどが存在している中でどれだけ効果があるのかも疑問視されています。そしてバイ菌の活動のタイミングを大まかなイメージで言うと、食後約1時間でバイ菌が活動を始め、2時間後には活動のピークがあると思ってください。「夜、寝る前に歯を磨くから、晩御飯の後は磨かなくていいや!」とするとバイ菌の活動は放置されていることになりますよね。バイ菌が活動する前に、バイ菌のエサになっている食べかすを取り除いておくことが大事で、それによってバイ菌の活動を抑制できます。ですから、バイ菌が活動を始める前には歯磨きしておくことが大事になるわけです。また、食後早い段階での歯磨きを行うことは、食べ物の汚れを落とすのに効果的です。食後のお皿を洗うことを思い浮かべてください。早い段

階でお皿を洗うのと、時間をおいてお皿を洗うのはどちらが簡単にキレイにできるか皆さんも日常の経験上よく知っていると思います。「食べ物の汚れは、時間がたつと落ちづらい」ってことです。ですから早めの歯磨きは優しい力で歯磨きを行っても十分にキレイにすることができます。そこにデンタルフロス(糸ようじ)などの補助的清掃機具を用いると、さらに効果が高まります。また、極論ですが、毎食後に歯を磨いていないことで悪影響が出る人は多くいますが、早い段階で歯磨きをして困った人はまずいません。ですから、現状では食後～30分くらいを目安に磨きやすいタイミングで磨けばそれがいいと思います。ハミガキはたっぷりつけて、うがいは極力少なめに、ハミガキの成分の効果を歯や歯ぐきに多く残すようにした方がいいでしょう。歯ブラシの持ち方や力加減は「ぐっ」と握らず、鉛筆を持つように持つといい。そのうえで優しくマッサージするようにあててください。ストロークはその場で歯ブラシの頭を振動させるように。イメージとしては自分の手が電動歯ブラシであるかのようにです。詳細は歯ブラシの当てる角度などいろいろありますし、妊婦歯科健診で歯医者さんに相談されるといいですよ。

福山市 妊婦歯科健診について

料金	無料
対象者	福山市に住所を有する妊婦
実施場所	福山市が委託している実施協力医療機関(要予約) [小池デンタルクリニックも実施協力医療機関です]
健診内容	口腔内診査、歯科保健指導
持参物	妊婦歯科健診受診票(母子健康手帳別冊)、母子健康手帳、健康保険証

[留意事項]
妊婦歯科健診当日は健診のみを行います。治療については健診医とご相談ください。

福山市 妊婦歯科健診

★ プママさつだい健診 ★
妊婦歯科健診受診票が必要ですよ

対象者	福山市に住所を有する妊婦
実施場所	福山市が委託している実施協力医療機関(要予約)
健診内容	口腔内診査、歯科保健指導
持参物	妊婦歯科健診受診票(母子健康手帳別冊) 母子健康手帳、健康保険証

★留意事項★
妊婦歯科健診当日は健診のみを行います。治療については健診医とご相談ください。

＊ ・ ・ ・ 赤ちゃんに大切なプレゼント ・ ・ ・ ＊

妊娠中から、赤ちゃんのむし歯予防は始まります。

◎むし歯菌の母子感染

生まれたばかりの赤ちゃんには、むし歯や歯周病の原因となる菌は住んでいません。生まれた後にママや家族からうつります。

◎赤ちゃんのためにできること

妊娠中からママや家族の口を清潔にしてむし歯菌を減らしておくことが、生まれる前から赤ちゃんの口の健康づくりを始めるために大切です。

◎ママや家族も定期健診を受けましょう



ハイ!

私がお答えします

I ANSWER THEME

あなたは日常の診療を通して、疑問を持ちながら何気なくやり過ごしていることや訊きそびれていることはありませんか？このコーナーでは、患者さまをはじめそのご家族の、診療におけるさまざまな質問や相談に、当院と当グループクリニックの適任スタッフがお答えするコーナーです。

Question

インフルエンザについて教えてください。
妊娠中はワクチンを接種できますか？

インフルエンザが流行し、体調を崩す方が増える季節です。インフルエンザは高熱が出るだけでなく、場合によっては激しい頭痛や嘔吐などの強い症状が出るため注意が必要です。インフルエンザワクチンは、接種してもワクチンの成分による感染を起こすことのない不活化ワクチンです。妊娠中の不活化ワクチン接種は問題ないと考えられています。妊娠初期にインフルエンザワクチンを接種した妊婦の研究でも先天異常発生率の増加はみられませんでした。むしろ、妊娠中はお母さんのインフルエンザ感染を予防することが大切です。インフルエンザのワクチンを接種して体内で抗体が作られるまで約2週間かかるため、流行が本格化する前に予防接種を受けることをお奨めします。

Question

妊婦がインフルエンザに罹った場合、どうすればよいですか？

妊婦さんは重症化しやすいため、インフルエンザが疑わしいときは、必ず電話でご相談ください。そのまま受診された場合、他の妊婦さんへ病気をうつしてしまう可能性があります。電話をいただくことで、他の妊婦さんへの感染を防ぐ対応をすることができます。病院を受診するときは、マスクを着用し他の患者さんにうつさないように気をつけましょう。

Question

妊娠中に抗インフルエンザ薬を服用すると胎児に影響はありませんか？

新型インフルエンザ大流行時、多数の妊婦さんが抗インフルエンザ薬(タミフル・リレンザ)を投与されましたが胎児に問題があったとの報告はありません。タミフルを妊婦の方が使っても、早産や胎児発育不全などが起こる確率は、それらが自然発生する確率と同じくらいであり、タミフルの有害作用は今のところ確認されていない状況です。また、リレンザの吸入はその成分が血液に入らないため、胎児への影響はほとんどないとされています。タミフル・リレンザともこれまでに胎児への影響を示す報告はなく、米国疾病予防局(CDC)、わが国の産婦人科ガイドラインともに、インフルエンザに罹患後、48時間以内にインフルエンザの重症化予防を目的とした治療開始が推奨されています。

Question

インフルエンザに罹った場合、授乳していいですか？

原則、母乳を与えることは可能です。インフルエンザウイルスは気道粘膜で増殖するので、血液の中に大量のウイルスが出現することはなく、母乳中にたくさんのウイルスが出ることは考えられません。また搾った母乳を飲ませて、そこから赤ちゃんにインフルエンザが感染したという報告もないようです。ただし、インフルエンザにかかったお母さんがオムツを変える等の、赤ちゃんのお世話をすれば、やはり感染の可能性はあります。

赤ちゃんにインフルエンザをうつさないための注意点

- 1 手は石けんを使ってしっかり洗い消毒しましょう。
- 2 赤ちゃんの顔に向かってくしゃみや咳をしないように気をつけ、マスクを着用し授乳しましょう。
- 3 重症で赤ちゃんのお世話ができない場合には、搾母乳を健康な第三者に与えてもらいましょう。
- 4 マスク着用などの感染対策は、お母さんのインフルエンザ発症後7日目までは続けましょう。

家族みんなで感染予防に気をつけましょう！

- 不必要な外出は控える。
- 手洗いはまめに。
- うがいも忘れずに。
- 掃除をこまめに、衛生管理。

* * * * *

当院でも毎年感染防止のため、広島県のインフルエンザ警報が発令された日より、15歳以下の面会制限を行っています。入院中の患者さんにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願ひします。

私がお答えしました



看護師 病棟主任 小島恵子

“小池やすはら 小児クリニック” 便利!



明けましておめでとうございます。

今年の夏頃に、小池病院が当クリニックの隣で現在建築中の建物に移転します。現在のこの施設は取り壊され駐車場となるため、小児クリニックは一足先に隣の建物に引っ越しをして診療を開始します。その後、駐車場などの整備が整ってから、小児クリニックは小池病院の小児科として、新たな一歩を踏み出す予定です。移転に伴っては、皆さまなるべくご迷惑がかからないようにしていきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い致します。

妊娠中、赤ちゃんが無事に生まれてくるか不安に思うことはありませんでしたか。元気に生まれてきてくれればそれだけでいい、と思いませんか。無事出産を終え、元気な赤ちゃんに会えて、いざ育児が始まると、今度はいろんなことが気になり始めます。ほかの赤ちゃんと比べてうちの子は小さい、同じ時期に生まれた赤ちゃんは〇〇ができるのにな

ちの子はできない…気になり始めると悩みは尽きません。親なので心配になるのは仕方ないですが、心配しすぎて気持ちに余裕がなくなるとお母さんの笑顔が減り、表情が暗くなり、育児がしんどくなってしまいます。育児ってただでさえ大変ですし、終わりはまだまだ遠い先のことです。当たり前ですが赤ちゃんにもそれぞれ個性があります。その子その子でペースも違います。得意不得意もあります。早く歩けたからといってスポーツが得意になるわけでもなく、早く話せるようになったからといって語学が得意になるわけでもありません。お母さんが気にし過ぎているだけのことがよくあります。心配事は抱えすぎずに、気になることがあったら遠慮なく受診してください。お母さんの心配事が個性なのか異常なのか、それを判断しながら赤ちゃんの成長を見守り、お母さんの育児のサポートをするのが私たちの役目です。お母さんが笑顔で育児ができるように、今年もスタッフ一同頑張っています。

院長 小池美緒



KOIKE-YASUHARA Pediatric Clinic



受付

待合ホール

処置室

- 診療内容
 - ・小児科一般外来
 - ・特殊外来
 - 予防接種
 - 乳幼児健診
 - アレルギー外来(低身長など)
 - 内分泌外来
 - 新生児

診察時間		月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:30	一般外来	●	●	●	●	●	●
午後2:00~ 4:30	特殊外来	○	○	○	○	○	○
午後4:30~ 6:00	一般外来	●	●	●	○	●	-

休診日 日曜日・祝日
 午前の受付は12:00まで。木曜日の午後4:30~6:00は予約のみの診療となります。
 ※特殊外来は、予防接種・乳幼児健診・アレルギー・新生児・低身長の診察や相談に応じます(予約のみ)。
 ※一般外来は、発熱やかぜ、その他、特殊外来以外の病気の診察となります。

WEB予約



院長 小池 美緒



医師 岩間 直

黒くなければ虫歯じゃない？

— 初期虫歯を知りましょう —

虫歯には健康な歯の状態から皆さんがイメージするような黒くて穴の開いた虫歯になる前に初期虫歯と呼ばれる状態があります。テレビや雑誌などでも初期虫歯が取り上げられるようになってきており、ハミガキのCMなどで聞くこともあるかと思えます。

では、初期虫歯とはどんな状態でしょう？

多くの方は「小さな穴が開いている」「黒い」「ハミガキのフッ素で必ず治る」といったイメージを持つのではないのでしょうか。

初期虫歯とは、次の状態を言います。

- 穴が開いていない
- 白く濁った色(少し褐色の場合もあります)
- しみたり、痛かったりなどの自覚症状はない
- フッ素で元に戻せる可能性がある(可能性であって絶対ではない)

皆さんの虫歯に対するイメージとは違っていることがおわかりいただけたでしょうか。

それでは、皆さんのイメージする虫歯とどうして違うのか解説しましょう！

歯の表面はエナメル質という白く硬いものですが、食べかすをエサにした虫歯のバイ菌によって攻撃を受けると「脱灰」といって溶け始めてしまいます。この段階ではまだ歯の表面に穴は開いておらず、硬い部分から成分が溶け出し、歯の中がスカスカになりはじめている状態です。こういった状態の時にハミガキのフッ素の成分が活躍して「再石灰化」を促進し、再度歯を硬くしていく作業をします。この「再石灰化」といった言葉もCMなどで知っている人も多いでしょう。この「脱灰」と「再石灰化」のやりとりのなかで、「再石灰化」の力が勝てばいいのですが、「脱灰」のほうが勝ってしまうとどんどんスカスカになっていき、やがて穴が開いてしまいますし、痛みや沁みたりなどの症状がでできます。こうして穴が開いてしまうと、もう「再石灰化」の力では治すことができなくなりますので、皆さんもよくご存じの治療法、歯を削って感染部を取り除き銀歯やコンポジットレジン(プラスチック樹脂)などといった商品で失った部分を置き換える治療となってしまいます。

穴が開いてしまう前で初期虫歯の段階であれば、まだ歯磨き

やメンテナンスなどをしっかりすることで「脱灰」よりも「再石灰化」の力の方が上回ることができれば歯が元の状態に戻ることもあります。

一般的な虫歯に対するイメージとしては「一度虫歯になると一方通行の病気で、自然に治ることはなく何らかの商品で代替させていくしかない」と思います。



虫歯に対するイメージが「黒く穴が開いている状態」であれば前述の通り「もう自然には治らない」で問題ありませんが、虫歯には初期虫歯という前段階があって、この段階であれば「脱灰」よりも「再石灰化」が勝れば元に戻せる可能性があることを覚えておいてください。

初期虫歯での予防を考えるなら「再石灰化」を勝たせるよう、フッ素を含んだハミガキで日々メンテナンスすることが必要です。しかしフッ素が含まれているハミガキを使っているにもかかわらず、ちゃんと使えてなければ効果は半減してしまいます。しっかり磨けていることも大事ですし、すすぎ過ぎてせっかくのフッ素の成分を少なくしてしまわないようにすることも大切です。歯磨きもその効果をしっかりと得るためには歯ブラシの持ち方や動かし方、ハミガキの量やすすぎ方など、正しい用法を知って実践していくことが効果を最大限に生かすためには大事になってきます。こうした歯磨きですが、我流となって効果を半減させないためにも歯医者さんでしっかりと学んでおくといひでしょう。そして前歯で大きな白濁にでもなっていればともかく、なかなか自分で見つけることは難しいものです。ですから歯科での定期的なメンテナンスも早期発見には大事な役割となります。

患者さんご自身と歯科医院との二人三脚で、初期虫歯ができないよう気をつけてまいりましょう！

KOIKE Dental Clinic



ロビー



カウンセリングルーム



診察室

小池デンタルクリニックは…

- 「一般歯科」ですのでお気軽にお訪ねください。予約診療制をとっています。
- 患者さまのご意向を確認しながら治療を進めます。診療方針として、「歯1本」ではなく、「口の中全体」を1つの単位として治療計画を立ててまいります。
- 患者さまのプライバシーに配慮し、診療室はすべて個室となっています。
- 治療計画などをご説明したり、お悩みをお聞きしたりするためにカウンセリングルームを設けています。



院長 小池 秀行

歯学博士
日本補綴歯科学会専門医

※歯が欠けたり失われたりした場合に、かぶせ物、差し歯、ブリッジ、入れ歯(義歯)、インプラントなどの人工物で補い、機能・審美を回復することを専門とし、学会で認められた歯科医師です。
社団法人日本補綴歯科学会 <http://www.hotetsu.com/p1.html>



LED 照明付歯科用双眼ルーベ
*全スタッフが所持しています。



口腔外
パキューム



LED 无影灯



LED 照明付タービン

使用器材の衛生管理のため、洗浄・消毒に関する国際規格(ISO15883)に基づいた高度な洗浄・消毒や、高い安全性を追求した滅菌システムを採用しています。



ホルホープ
(ガス滅菌器)



クアトロケア
(自動注油洗浄器)



ステイティム
(高圧蒸気滅菌器)



Lisa
(高圧蒸気滅菌器)



ミーレ ジェットウォッシャー
(洗浄・消毒器)



ピエゾン
マスターサージェリー
(超音波振動外科手術器)



炭酸ガスレーザー



歯科用CT

- 診療内容
- ・ 歯科一般外来
 - ・ 審美
 - ・ インプラント
 - ・ 歯周外科
 - ・ 口腔外科
 - ・ 小児歯科

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:30	●	●	●	—	●	●
午後2:00~6:00	●	●	●	—	●	●

休診日 木曜日・日曜日・祝日 ※祝日のある週は木曜日診療